

IV. 広報活動

霊長類研究所では広報委員会が主体となって、オープンキャンパス（大学院ガイダンス）、公開講座、市民公開日などの催しを行っている。また、ホームページをとおして研究所の活動を一般の方に紹介するように努めている。

(1) 公開講座（第20回）

霊長類学の成果を広く市民に紹介することを目的に、毎年8月後半に公開講座を開催している。年齢や職業もさまざまな受講者に、研究所教員による霊長類学の講義の他、自らの手を動かすことで霊長類への理解を深めてもらうため実習も行っている。今年度は8月18日（木）と19日（金）の2日間実施し、第1日目に講義、2日目に実習を霊長類研究所で行った。全国から49名の参加があった。

公開講座「霊長類の進化」

2004年8月19日（木）～20日（金）

<プログラム>

講義 8月19日（木）10:00-17:50

会場：霊長類研究所大会議室

茂原信生「説明、所長挨拶」

濱田稔「マカクザルの進化：アジアで人類とともに生きて」

渡邊邦夫「日本社会と霊長類の保全生物学」

平井啓久「チンパンジーの遺伝子不毛地帯」

松沢哲郎「野生チンパンジーの暮らしと彼らの森をまもる試み」

実習 8月20日（金）10:00-16:10

会場：霊長類研究所

以下から2科目選択して実習を行った。

「骨学実習」毛利俊雄

「心理学実習」田中正之

「サルの野外行動観察実習」渡邊邦夫

「分子遺伝学実習」浅岡一雄

質疑応答

(2) 東京公開講座（第3回）

2002年度より、霊長類学の成果を一般社会にいつそう広めるため、東京圏で一般市民向け公開講座を開

催している。今年度は、2004年9月18日（土）に日本科学未来館（東京）において、「進化-遺伝子から社会まで」というテーマで開催した。今年の申込人数は265名、当日参加を含めた実際の参加人数192名であり、全国各地からの参加があった。なお本講座は、京都大学21COEプログラム「生物多様性研究の統合のための拠点形成」の補助を受けた。

<プログラム>

2004年9月18日（土）13:00-17:00

（司会：室山泰之）

茂原信生「所長挨拶」

平井啓久「ゲノム不毛地帯と染色体進化」

三上章允「霊長類の色覚と進化」

國松豊「ヒトを生んだ者たち—類人猿2500万年の進化」

大澤秀行「霊長類社会の多様性とその進化」

質問・疑問

(3) 市民公開（第15回）

研究所の活動に理解を得るために、犬山市および近隣市町村に在住の方々に研究所の施設、研究内容を紹介する市民公開日を設けている。今年度は10月24日（日）に開催し、約40名の参加者があった。

<プログラム>

2004年10月24日（日）12:45-15:15

（司会：清水慶子）

清水慶子「総合案内」

茂原信生「所長挨拶」

講演 友永雅己（思考言語分野）「チンパンジーの母と子」

所内見学（サル放飼場、展示資料室など）

(4) オープンキャンパス：大学院ガイダンス（第2回）

大学の学部学生（2, 3, 4年生）を対象としたオープンキャンパスを、2005年2月23日（水）～24日（木）に開催した。各分野・センター・施設の教員による講義、所内見学、各分科教員との懇談会、さらに大学院生・研究員等も参加した懇親会がおこなわれた。参加者は37名だった。

2月23日（水）9:30-21:00

茂原信生（所長）「開会の挨拶」

濱田稔（大学院世話役副議長）「大学院入試に関するガ

イダンス」

講義 1 マイク・ハフマン「野生チンパンジーの保全と行動生態の研究について」

講義 2 室山泰之「里のサルとつきあうには—霊長類の保全と管理」

所内見学 1

講義 3 林基治「霊長類脳の解剖学的特徴と発達加齢の分子基盤」

講義 4 三上章允「前頭連合野とワーキングメモリー」
休憩

講義 5 田中洋之「分子系統分析によるアジルテナガザルの亜種間関係」

講義 6 中村伸「機能遺伝子から見たサルとヒトの類似・相違性」

分科ごとの懇談会 1（希望者のみ）

懇親会

2月24日（木）9:30-18:00

講義 7 森明雄「霊長類の社会構造」

講義 8 友永雅己「チンパンジーの認知」

講義 9 正高信男「人間の人間性ってなに？」

昼食

所内見学 2 ※所内見学について

講義 10 濱田穰「霊長類形態学：実験室からフィールドまで」

講義 11 本郷一美「化石と動物骨の発掘調査」

講義 12 後藤俊二「サル類の疾病と実験動物学」

質疑応答（講師全員参加）

分科ごとの懇談会 2（希望者のみ）

(5) ホームページ

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>

広報委員会は情報システム整備委員会と協力して、研究所ホームページを開設し、インターネットを通じて研究・教育活動の紹介を行っている。年報や自己点検評価の結果などもホームページ上で公開している。

(6) 研究所見学者

2004年度の研究所見学者は以下の通りである。

6月19日（土）椋山女学園大学人間関係学部・同大学院人間関係学研究科学生5名、教員1名

10月18日（月）秋篠宮夫妻

2月1日（火）愛知県理科教育研究会

3月4日（金）中京高校教員

(7) 霊長研フォーラム連載

地元で研究所の活動を広く知ってもらおう一環として、犬山市の広報誌「広報いぬやま」に2002年10月1日より「霊長研フォーラム」として研究所紹介コラムを連載している。2004年度は以下の方々が執筆した。

2004年4月1日号 田中正之

2004年5月1日号 相見満

2004年6月1日号 庄武孝義

2004年7月1日号 竹中修

2004年8月1日号 室山泰之

2004年9月1日号 脇田真清

2004年10月1日号 橋本千絵

2004年11月1日号 高井正成

2004年12月1日号 大石高生

2005年1月1日号 上野吉一

2005年2月1日号 森明雄

2005年3月1日号 友永雅己

なお平成16年度の広報委員会は以下の6名で構成した：

高井正成（広報委員長）、清水慶子、脇田真清、上野吉一、室山泰之、滝博（総務掛長）。

（文責：高井正成）